まちかど ZOOM UP

## 3/10（金） 非核平和都市宣言から10年 被爆二世の苗木を植樹

伊達市役所 ceremony

市の『非核平和都市』宣言10周年を記念し、被爆樹木二世（アオギリ）の苗木を広島から譲り受けました。植樹式では石田小6年の八島心優（みひろ）さん、佐藤あづささんと須田市長が苗木を植樹。被爆の惨禍（さんか）に遭いながらも再び芽吹いた被爆樹木二世の苗木を、市の平和の象徴として市民と育て、共に恒久平和の実現を目指します。

## 3/12（日） 1年間の無火災や無災害を祈る 伊達市消防団初午行事

市内各地 eveny

初午行事は支団ごとに行われました。神社で無火災・無災害を祈願した後、消防水利の点検や各戸を訪問し火災予防の呼びかけを行い、防火・防災の意識を高めました。このうち月舘支団では4年ぶりに広瀬川で消防ポンプによる一斉放水を行いました。13本の大きな水柱が上がり、火災への備えが万全であることを確認しました。

## 3/13（月） 未来に向かって大きく羽ばたく 中学3年生が学び舎をあとに

桃陵中学校 ceremony

6つの中学校で卒業式が行われ、461人の生徒が学び舎を後にしました。桃陵中学校では140人の生徒一人一人に卒業証書が手渡され、熊澤正人（くまざわまさと）校長は「コロナ禍でも前向きに乗り越える力を身につけました。これからも新たなチャレンジをしてください。」と述べました。卒業生（そつぎょうせい）を代表し三浦知也（みうらともや）さんが「在校生の皆さんに、これからの桃陵中を託します。」と答辞を述べました。

## 2/13（月） 避難施設の混雑状況 可視化で協定締結

伊達市役所 ceremony

協定締結式はオンラインで行われ、㈱バカン代表取締役河野剛進（かわのたかのぶ）さんと須田市長が事前に署名をした協定書を掲げ合いました。須田市長は「この協定で避難施設の混雑状況が可視化され、市民が安心して避難できると期待しています。」とあいさつ。河野さんは「運用にあたり、利用しやすいシステムとなるよう伴走していきます」と述べました。

## 3/4（土） 地域を笑顔にしたい りょうぜんマルシェにぎわう

霊山中央交流館 event

地元の店や生産者など21店が出店し、いちごをはじめとする農産物やお菓子、手芸品などが販売されました。開会と同時に多くの来場者が訪れ、店員と笑顔で会話を交わしながら買い物を楽しんでいました。実行委員長の大竹重政（おおたけしげまさ）さんは「いつまでもコロナで下を向いていられない。マルシェで地域の笑顔を取り戻したい」と語りました。

## 3/5（日） 4年ぶり、伝統行事に歓声沸く 白熱のつつこ引き祭り

厳島神社（保原地域） festival

祭りは江戸時代中期に始まったとされ、五穀豊穣や家内安全を祈る伝統の祭りとして受け継がれてきました。規模を縮小し境内での開催となりましたが、砂埃が舞う中、重さ800㌔の大つつこを若衆が威勢よく引き合いました。観覧した60代の女性は「今までで一番近くで見られてうれしかった。心が一つになった気がした。」と話していました。